

平成29年7月1日

会員各位

協会だよりー295(7月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

● 第232回月例会(講演会・懇親会)の開催

ご注意：下記のとおり 7/19(水)、如水会館へ開催日と会場を変更しております。

日時：平成29年7月19日(水)14時00分～19時30分

場所：神田一ツ橋 如水会館（2月の講演会・新年会を開催した会場です）

講師：①三洋電機株式会社 OB 金野 衛殿

②経済産業省産業技術環境局環境指導室 課長補佐 青柳あさ子殿



北の大地を眼下に（初夏の勇払平野）

- 一．協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二．会員会社よりの連絡
事務局より（七月度の予定）
- 三．【雑字】鎌倉湖（散在ガ池）から
山を越えて建長寺まで
- 四．

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー294（6月号）をメール&郵便で送信（5/26）
- ② 新事務所での業務開始（6/1）所在地：〒105-0004 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル1号館601（BISTATION内）

【予定事項】

- ① 第232回月例会の開催
日時：平成29年7月19日（水）14：00～19：30
場所：如水会館（神田一ツ橋）
講演：金野 衛殿（三洋電機(株)OB）
青柳あさ子殿（経済産業省産業技術環境局環境指導室課長補佐）

② 第233回月例会の開催準備・幹事会

日 時：平成29年7月27日(木)16:00～

場 所：BISTATION（新事務所所在地）

出 席：第233回月例会の幹事会社と担当運営委員、専務理事

2. 会員会社よりの連絡

【会員代表の退任と新任】

● エヌ・イーケムキャット株式会社

平成29年6月付、代表取締役社長の退任と新任ご連絡がありました。

（退任）池田和夫殿 ⇒（新任）岡田 功殿

【協会担当者の交代】

● 小島化学薬品株式会社

協会担当：蔭佐 仁殿より連絡がありました（7/19開催の第232回月例会を以て蓑輪裕樹殿に交代いたします。蓑輪殿は役員会監事も引継ぎいたします）

蓑輪裕樹殿（営業本部 営業部 部長）

● 川研ファインケミカル株式会社

協会担当：渡部真治殿より連絡がありました。社内人異動で7/1付で千葉直樹殿に交代いたします。千葉殿は広報委員も引継ぎいたします。

千葉直樹殿（ファイン事業部営業開発部 部長）

3. 事務局より（7月度&8月上旬の予定）7月出勤予定：9日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
×	×	○	×	○	×	×
9	10	11	12	13	14	15
×	×	○	×	○	×	×
16	17	18	19	20	21	22
7/15～7/17 (千葉岬町へ)		○	第232回 月例会	○	×	×
23	24	25	26	27	28	29
×	×	○	×	第233回 幹事会	×	×
30	31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5
×	×	○	×	○	×	×

4.【雑学】鎌倉湖(散在ガ池)から山を越えて建長寺まで

北鎌倉でも鎌倉湖(散在ガ池)は最北部(今泉)に有り、砂押川の谷を堰止めて作った灌漑用
の人造湖である。散在ガ池とは砂押川下流に散在する数か村が共同して堰を作ったこと
による。その水で潤った下流の水田も、今では殆ど住宅地か工場用地となっているよう
だ。現在は周辺の森林を含めて散在ガ池森林公園として鎌倉市公園協会が管理している。

6月10日(土)10:00、JR 大船駅南改札口には元気な歴歩会のメンバーが集合している。
今回、今泉より建長寺までは山越えの為、足に自信のない方は欠席しても良いとお達し
が有ったので何時もより少ない 34 名の参加となった様子。さて皆さん、駅前より江ノ電
バスに乗り、大船の市内を通り抜け白山神社前で下車となる。

《白山神社》鎌倉市今泉三丁目

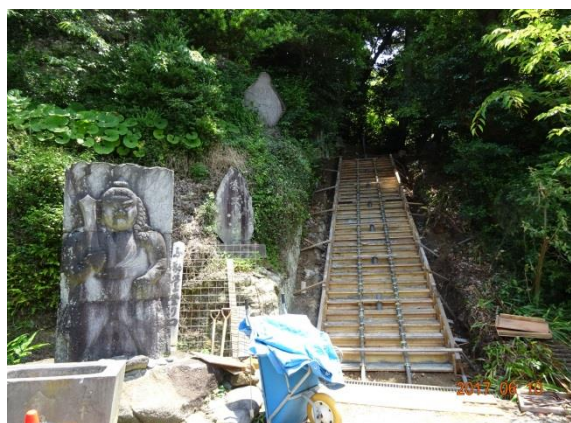
神社の登り段の前には禅宗今泉寺の石柱がある。白山神社は元毘沙門堂であったそう
だ。鎌倉の各寺社では時あたかも紫陽花のシーズンで、此処白山神社の境内でも満開
である。背後の森林は鬱蒼として鎌倉の奥地の様相である。



白山神社の更に奥には称名寺がある。称名寺よりさらに奥には、鎌倉パブリックゴルフ、
鎌倉カントリークラブがあり、往年ゴルフプレーしたメンバーには懐かしい街道のよう
だ。

《称名寺》鎌倉市今泉四丁目

称名寺は浄土宗の寺で今泉山一心院と称し、開山は弘法大師とも伝えられている。境
内には今泉不動尊や陰陽の滝がある。現在、不動尊の階段が工事中でお参り出来な
かった。



陰陽の滝は、湧き水が僅かながら流れ出ている滝といわれており、言われればその様である。ここ称名寺でも見事に紫陽花が満開であった。



称名寺の隣には、鎌倉市のクリーンセンター(ごみ処理場)がある。ここはやはり人里離れた地区であるようだ。私たちは称名寺に別れをつけ、一般道を鎌倉湖北口へ向う。



少し早いようだが、鎌倉湖畔で昼食タイムとなる。鎌倉湖の南口へ行くには馬の背の小道とのんびり小道がある。私たち高齢者にはのんびり小道が宜しいということになった。



いざ歩いてみると、この小道も深山幽谷の趣で、僅かに湖面が見えるものの、石段有り木道ありで高低差も有り、息き絶え絶えの歩行だった。結構きつい、のんびり小道であった。山道を下ったところが南口、出たところは今泉台の大住宅地であった。いよいよ、天園ハ

イキングコースにチャレンジして建長寺を目指す。今泉台6丁目公園よりの登りは、鎖場が有るとのことので敬遠し、今泉台4丁目より山越えをする。ハイキングコースの左手眼下には今泉台の住宅地が広がり、右手は鬱蒼とした雑木林が広がっている。息絶え絶えで勝上山（145m）の頂上に到着、145mながら展望台からは建長寺境内、鎌倉市街、相模湾が眼下に一望となる。



勝上山から、手摺のない石段を一步一步慎重に下ることになる。相当膝に来る石段だ。勝上山の南腹には半僧坊があり、建長寺から登って来る参拝客が多い。

《半僧坊》鎌倉市山ノ内

明治23年（1890）、当時の建長寺管長が一山の鎮守として、静岡県引佐町の方広寺（奥山半僧坊）から勧請したもので半僧坊大権現を祀っている。『郷土資料事典 14・神奈川県』より。建長寺の歴史と比べるとかなり新しく、境内には大天狗やカラス天狗の銅像が林立し参拝客を出迎えてくれる。山頂(裏口)からの建長寺入園だが、参拝料500円を支払う。半僧坊から建長寺へ向って499段有るという石段を下る。今回、足に自信のない方は欠席して宜しいとのリーダーの判断は正しかったようである。何とか建長寺の法堂に到着する。



《建長寺》鎌倉市山ノ内



庭園は方丈(龍王殿)の背後にあり、大覚禅師の作庭で蘸碧池(さんぺきち)を中心とした貴賓を応接するための庭園といわれている。

巨福山建長寺は臨済宗建長寺派の大本山で、建長5年(1253)北条時頼が、宋の名僧蘭溪道隆(1213~78)を開山として創建した。



梵鐘は重さ2.7ト、建長7年(1255)大和権守物部重光が鑄造したもので国宝。茅葺の荘厳な堂に設置されている。建長興国禅寺の額が掲げられている三門。三門とは三解脱門の略で、楼上に五百羅漢などを安置して、その下を通ると心が清浄になる祈念している。さて私たちは勝上山より山を下り、半僧坊を通り、庭園を見学して三門を通ってきたので心が清浄になったであろうか。境内で、団体行動は解散となり、バスで鎌倉駅へも行けますと伝言もあったが、殆どの方は、JR北鎌倉駅を目指して黙々と一般道を歩く。土曜日でも有り、さすが北鎌倉、建長寺から北鎌倉駅の間には明月院(あじさい寺)や円覚寺があるためか、紫陽花のシーズンでも有り老若男女、団体、ペアーが多く、歩道の歩行も大変であった。北鎌倉~大船~藤沢とJRに乗り、藤沢からは小田急線に乗り換えて帰路に着く。既に入梅はしていたが、この日は晴天に恵まれた一日であった。感謝!!

(執筆:小林尚道)

【文責：専務理事】